

沖縄タイムス 広告制作・入稿ガイド

Ver.4.0

はじめに

沖縄タイムス社営業局では、日本広告業協会（JAAA）新聞デジタル制作・送稿ガイド2.0に準拠し、デジタルデータを入稿する際の安全確実なルールを広告制作・入稿ガイドとして2010年4月に初版を作成しました。

2022年1月から、新輪転機の稼働により質の高い印刷が可能となり、改めて制作ガイドを見直し刷新致しました。高品質でスムーズな広告掲載のために、入稿側（広告代理店）と弊社の間で新聞印刷の知識とルールを共有する必要があります。

また、新聞印刷と商業印刷では、異なる制作ルールや印刷特性があります。このガイドでは、新聞広告制作のルールと印刷特性についてまとめました。広告を制作する際には、このガイドを是非ご活用下さい。

弊社の制作環境

- | | |
|--------------------------|---|
| ■ 使用OS | ◎ Mac OS X（10.15.7） |
| ■ 7 th リケーション | ◎ Adobe Illustrator（CS6 CC） ◎ Adobe Photoshop（CS6 CC） |
| ■ 出力解像度 | ◎ 1200 dpi |
| ■ 網点線数 | ◎ カラー100線 モノクロ85線 |
| ■ 網角度 | ◎ C15度、M45度、Y0度、K75度（AMの場合） |
| ■ 網点形状 | ◎ Round Square（AMの場合、モノクロ）、Staccato（FMの場合、カラー） |
| ■ UCR | ◎ 250%（C60%、M60%、Y60%、K70%） |

— 目次 —

新聞輪転機の特長について	4 頁
データ制作について	
Illustrator	5 頁
Photoshop	10 頁
データ入稿について	13 頁
入稿前の最終チェック	14 頁
インク総量 (UCR) の確認	11 頁
広告原稿サイズ	15 頁

★参考資料

「新聞広告デジタル制作・送稿ガイド」一般社団法人日本広告業協会
https://www.jaaa.ne.jp/2012/06/n_pdf

「新聞広告データアーカイブ」一般社団法人日本新聞協会
<https://www.pressnet.or.jp/adarc/>

新聞輪転機の特徴について

新聞印刷に使用する輪転機は、1時間に8万部の高速でザラ紙に刷りあげます。高速印刷される紙面は、ゆっくり乾燥させる時間がありません。そのため、インクが早く吸収されるよう粘度の低いインクを使用しています。それに比べ、商業印刷では真っ白な上質紙に時間をかけて刷りあげるため、インキ濃度を上げることができます。粘度の低いインクでは、印刷時に網点がいじんで広がります。この現象を「ドットゲイン」といいます。写真はこの現象を考慮して中間色を明るめにする必要があります。

また、濁った写真はドットゲインにより濁り部分が強調されます。従って写真によってはハイライト部分を飛ばす、または濁りを極力押さえるといった処理が必要となります。

新聞輪転機では墨・藍・紅・黄の4色のインキを塗り重ねることでカラーを表現しています。高速印刷される紙面は、折りたたまれ80部程度に重ねられ、各販売店に発送されます。その際に原稿の総インク量が多くなると余剰インキが対向面を汚してしまいます。また、裏写りの原因となる事もあります。そのため新聞印刷では総インク量を制限しています。

また、入稿ゲラの色が新聞に反映されないといった問題があります。これは、広告制作会社のプリンターの色調が新聞印刷とマッチングされていない事が原因と考えられます。沖縄タイムス社では、ご依頼があれば実際紙面の色見本の確認のため、新聞紙に近いザラ紙にプリント（プルーフ出し）して確認する事ができます。プルーフ出しをご依頼される場合は、**掲載日の2日前まで**に営業担当者か営業局管理編成部までご依頼下さい。

データ制作について

Ai

★基本的な制作ルール

囲み罫を巻き、線幅も原稿サイズ内に収める⇒6頁

孤立点はすべて削除⇒8頁

広告外には、何も置かない
注釈などは削除⇒9頁

トンボはつけない⇒9頁

ガイドは削除⇒9頁

カラーはCMYKを使用しインキの総量（CMYKの合計値）が、**240%~250%**を越えないようにデータを作成して埋め込み画像にする⇒7頁

複雑なパスをもつオブジェクトは、ラスタライズする（画像化）⇒9頁

『沖縄タイムス』は、沖縄戦で荒廃した郷土に立ち、米国の施政権下にあって、住民の声を復興の歩みを記録してきた。沖縄は長い歴史の過程にある。私たちは先人たちがくれた信頼を基に、県民とともに歩む報道を続け、想像力のある事業でよりよい未来を開きたい。

文字は全て
アウトライン化する⇒8頁

QRコードは、グレースケール又は、スミ100%で作成⇒7頁

枠外に出るオブジェクトは全てマスク処理をし、白板などで隠さない⇒9頁

透明なオブジェクトは削除⇒9頁

データ制作について



★制作アプリケーション

Adobe Illustrator cc 以上
Adobe Photoshop cc 以上

★データフォーマット

ファイル形式は**EPS**で保存して下さい（**AIデータは不可**）
日本広告業協会が策定した**N-PDF**データでも入稿が可能です。
詳しくは、下記のリンクを参考に制作して下さい。

https://www.jaaa.ne.jp/2012/06/n_pdf

★データサイズ

1GB以内で作成して下さい。

★原稿サイズ

原稿サイズは15頁を参照にして下さい。

★フォント

文字 6pt以上

※フォントは全てアウトライン化して下さい。

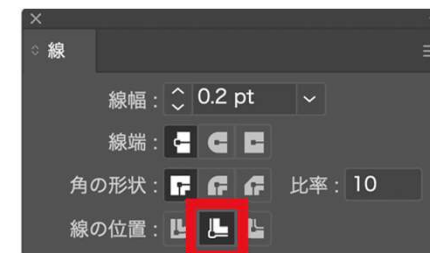
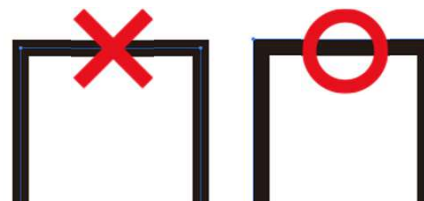
※平網に白ヌキ文字を使用する場合、設定によって最小サイズ以上でも判読しにくくなる場合があります。

★囲み罫

線幅 0.2pt以上

※原則として半5段以下の原稿は、**囲み罫を巻いて下さい**。囲み罫を除きたい場合は、営業局編成部までご相談下さい。

※「線の位置」は「線の内側に揃える」で設定して下さい。



データ制作について



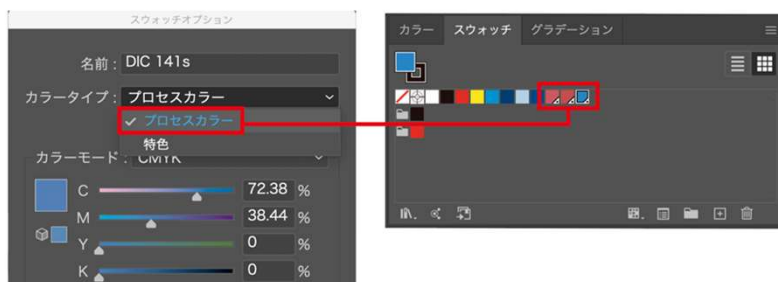
★カラー設定

モノクロ原稿 ⇒ **グレースケールのみを使用し、画像データも必ずグレースケールにして下さい。**

カラー原稿 ⇒ CMYKモードを使用して下さい。
RGBやカスタムカラー（特色）は使えません。

単色原稿 ⇒ **CMYK（プロセスカラー）で制作して下さい。**

※特色は、プロセスカラーに設定してください。
特色（スポットカラー）は指定ロゴ、マスコット、パターンスウォッチなどに存在する場合がありますので、注意して下さい。



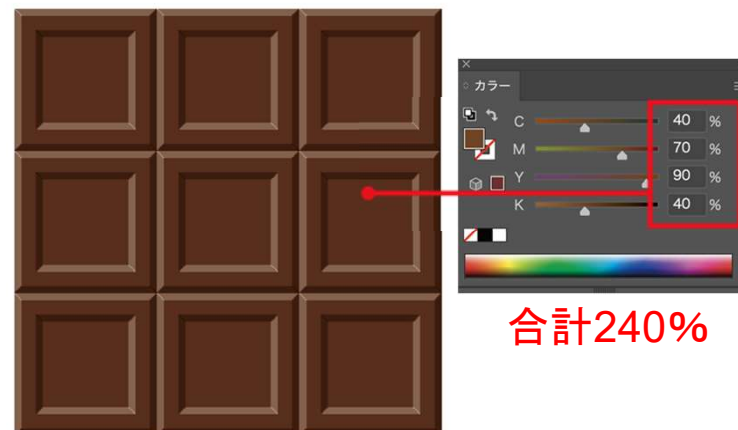
※シミ文字は、Kのみで表現する事でハッキリと印刷できます。CMYKの掛け合わせを使用すると、印刷時に見当ズレ（紙の収縮によって起こる僅かなズレ）が生じた際に、細かい文字や細い線が2重に見える事があります。

★QRコード

QRコードは、グレースケールを推奨しています。CMYKの掛け合わせを使用すると、見当ズレにより読み込めない場合があります。

★インキ総量（UCR量）

全てのオブジェクト、画像の**インキ総量を240%以下**にしてください。
※特に茶色や紺色など、濃い混色に注意して下さい。
※会社のロゴデータや素材集にもご注意下さい。

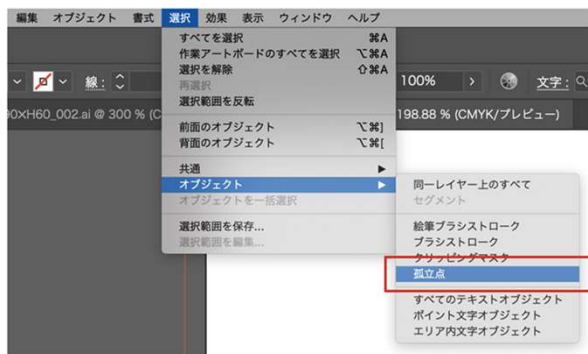


データ制作について



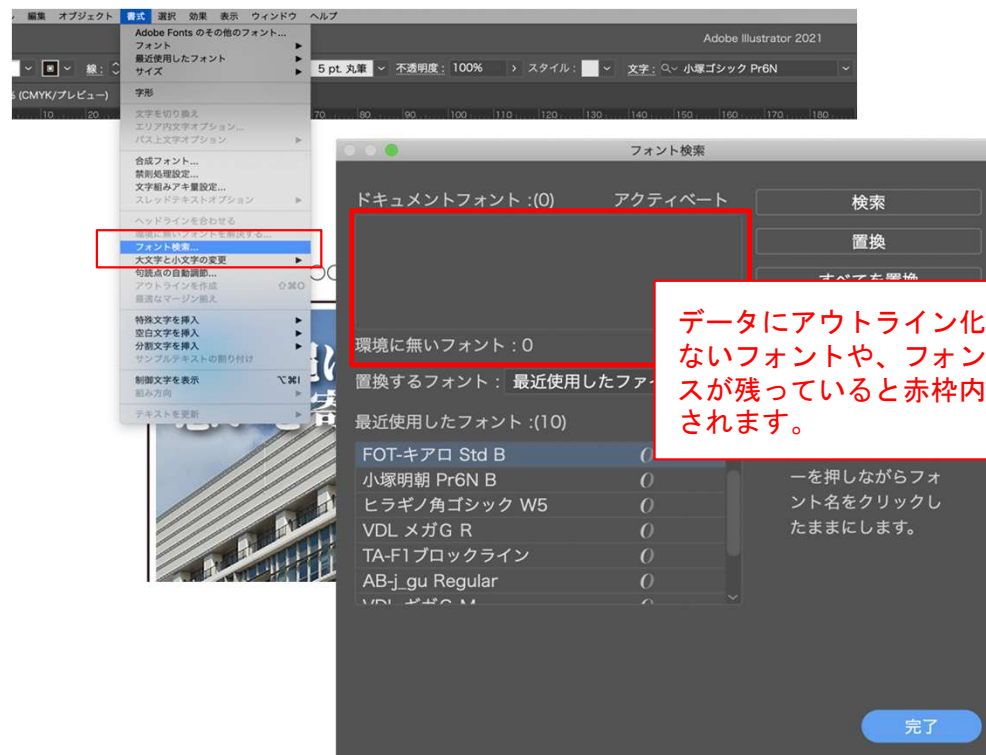
★孤立点は全て削除

メニューバーの [選択] から [オブジェクト] 孤立点を選択して削除して下さい。



★アウトライン作成

原稿データ上のフォントは必ず全て**アウトライン化**を行って下さい。
確認する方法として、メニューバーの [書式] から [フォントの検索] で文字が消えていることを確認して下さい。同時にフォント・パスの孤立点も削除して下さい。

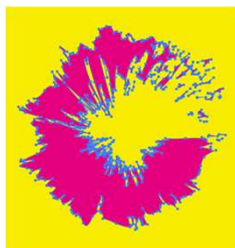


データ制作について

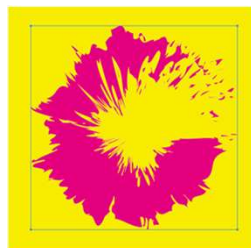


★複雑なパスを持つオブジェクト

複雑なパスや、アンカーポイントが非常に多いデータは不具合を起こすことがあります。また、データ容量も重くなります。ラスタライズ処理するか、アンカーポイントを削除するなど対応してください。



メニューバーの「オブジェクト」→「ラスタライズ」
高解像度 (300ppi)



★余計なレイヤーは削除

データ容量を軽くするため、レイヤーは、一つにまとめ不要なレイヤーは削除して下さい。

レイヤーのロックは外して下さい。

グループ化はマスクや複合パスなど必要最低限に留め、オブジェクトはなるべくグループ化を解除しロックもはずして下さい。

★マスク処理

原稿の外側に不要なレイヤー、オブジェクト、トンボ、文字（注釈を含む）孤立点（不要なアンカーポイント）があると、そこまで原稿サイズに含まれます。必ず削除して下さい。原稿サイズよりはみ出した部分はマスクをかけて処理して下さい。

★オーバープリント使用不可

オーバープリントを使用しないで下さい。色の重なりを表現する場合は、透明機能の使用を推奨します。

※白文字にオーバープリントが設定されている場合、文字が欠落し重大な掲載事故となる可能性があります。

※インキ量の多い画像の上にスミ文字（K100%）をオーバープリントでのせると適正のインキ量をオーバーする可能性があります。

★画像データの配置

配置する画像データは、[埋め込み]で配置して下さい。配置する画像データはCMYKもしくは、グレースケールのみを使用して下さい。

※[リンク]は画像が欠落する可能性があります。

★EPSの保存時、ダイアログの設定

オーバープリントは「破棄」、プリセットは「高解像度」に設定して下さい。

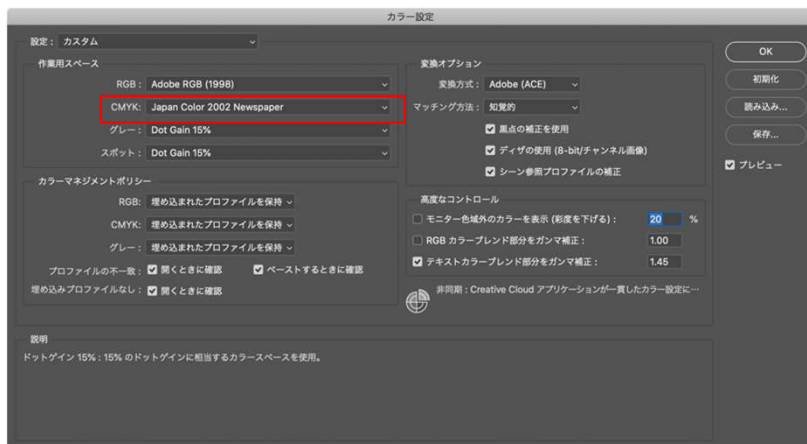
※オーバープリントは、基本禁止です。ぼかし・透明効果を使っている場合、「高解像度」に、オーバープリント・ぼかし・透明効果を使っていない場合は、設定できないようにグレースアウトしています。

データ制作について



★画像データのカラーモード設定

Photoshopで下記の設定を行い、画像をRGBからCMYKに変換して下さい。そうすることで、カラー画像のインキ総量（UCR量）が250%～240%内に抑えられます。CMYKの設定を [Japan Color 2002 Newspaper]



※元データがCMYKの画像は、一度RGBかLabカラーに変換し、改めてCMYKに変換することでインキ総量を抑える事ができます。

★画像について

【解像度】

写真の解像度は、240～350dpiを推奨しています。モノクロ2階調のロゴやカット類は、1200dpiを推奨しています。

※他社提供のロゴやQRコード、デジタルカメラ（携帯）画像、著作権フリー素材集などは解像度が低くなっている場合がありますのでご注意ください。

【画像の埋め込み】

レイヤーは統合し、ICCプロファイルの埋め込みは、しないで下さい。

【画像保存の注意】

画像データのフォーマットはEPS、TIFF形式で行い、EPS形式の保存オプションにおいて、プレビューはTIFF（8bit/pixel）かMacintosh（8bit/pixel）で保存して下さい。

エンコーディングは、画像の劣化を防ぐため、バイナリを推奨します。JPEG保存の場合は<最高画質（低圧縮率）>にして下さい。

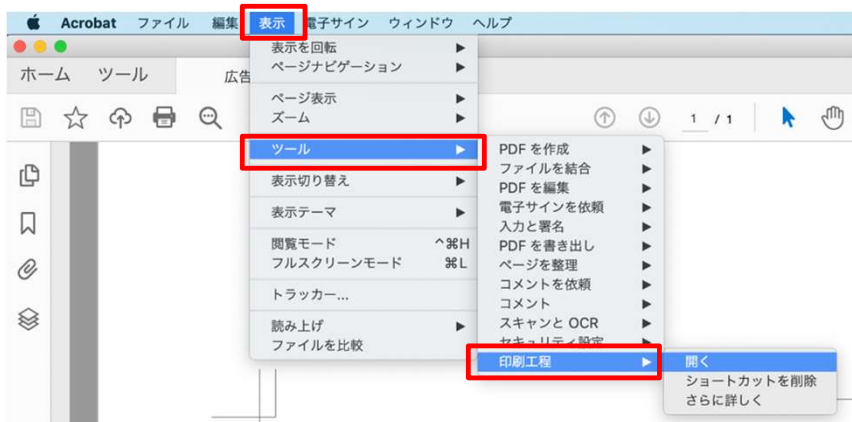
[ハーフトーンスクリーンを含める]、[トランスファ関数を含める]にチェックを入れて保存しないで下さい。

[ポストスクリプトカラーマネジメント]にはチェックを入れしないで下さい。

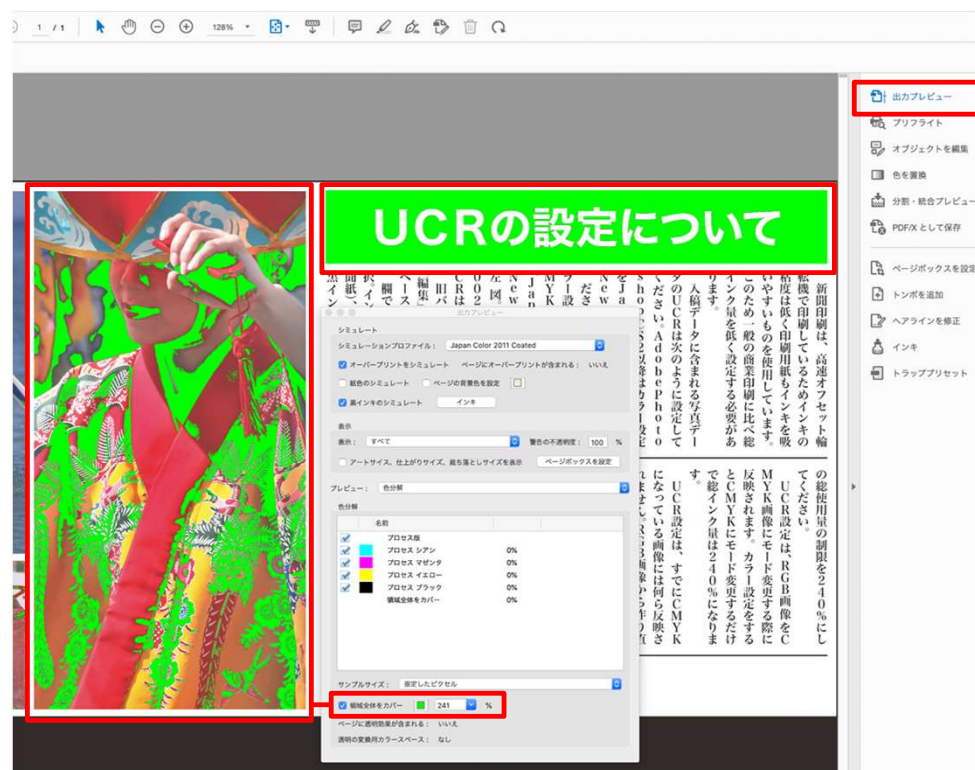
インク総量（UCR量）チェック

★Acrobat Pro によるUCR量のチェック

データ原稿が完成したら、AcrobatProの
[出力プレビュー] でチェックします。
メニューバーの [表示] → [ツール] → [印刷工程] を選択



[出力プレビュー] の中の [領域全体をカバー] にチェックを入れ、
数値「241%」を入力すると、241%以上オーバーしている箇所が色
を変えて表示されます。（右図では緑で表示）



見本ゲラ

★見本ゲラPDF

見本ゲラはPDF形式（JPEG不可）で保存し、掲載日、クライアント名、広告段数（掲載スペース）を記載して下さい。

0431_ 沖縄タイムス (Ja02 Np) _5d4C ←見本ゲラPDFには注釈を入れる



UCRの設定について

新聞印刷は、高速オフセット輪転機で印刷しているためインキの粘度は低く印刷用紙もインキを吸いやすいものを使用しています。このため一般の商業印刷に比べ総インキ量を低く設定する必要があります。

入稿データに含まれる写真データのUCRは次のように設定してください。Adobe Photoshop CS2以降はカラー設定をJapancolor 2002 Newspaperに設定してください。設定方法は「編集」↓「カラー設定」↓「作業スペース」↓「CMYK」欄のプルダウン項目から「Japancolor 2002 Newspaper」を選択↓左図。「Japancolor 2002 Newspaper」のUCRは240%です。旧バージョンは下右図を参照。

「編集」↓「カラー設定」↓「作業スペース」↓「CMYK」欄で「カスタムCMYK」と選択。インキの色特性はSWOP（新聞紙）、色分解の種類はCMYK、黒インキの制限は95%、インキの総使用量の制限を240%にしてください。

UCR設定は、RGB画像をCMYK画像にモード変更する際に反映されず。カラー設定をするだけでCMYKにモード変更するだけで総インキ量は240%になります。

UCR設定は、すでにCMYKになっている画像には何ら反映されません。RGB画像から作り直すか、RGBからLabカラーにしてサイド変換してください。

弊社では、カラー写真の補正や文字修正の手直しは一切いたしません。再入稿となりますのでご注意ください。

(沖縄タイムス社)

※見本ゲラPDFは、校閲する際に使用するもので、新聞印刷時の色見本ではありません。

データ入稿について

入稿における原則

★フォルダ・ファイル名の付け方

【ファイル名の見本】

日付 + 広告名 + 補足 .eps

日付：掲載日を月日の4桁で

広告名：クライアント名、または広告名

補足：広告段数（5d、3dなど）色（1c、4cなど）掲載スペース

【例】

0701_沖縄タイムス_5d4c（日付+クライアント名+5段フルカラー）

1225_○△マンション_題字下（日付+広告名+掲載スペース）

※注意 フォルダ名、ファイル名に下記の文字を使用しないで下さい。

*（アスタリスク）/（スラッシュ）¥（バックスラッシュ）

¥（円マーク）：（コロン）；（セミコロン）？（クエスチョン）

<>（小なり大なり）|（縦棒）

※ファイル名に.（ドット）の多様は禁止⇒ファイル拡張子のみで使用

★ファイル圧縮

広告データと見本ゲラPDFは、フォルダにまとめ、容量の大きさに関わらず、フォルダごと圧縮して下さい。圧縮形式はパスワード無しの**ZIP形式**でお願いします。ZIP形式以外は使用しないで下さい。

★入稿方法

【メール入稿】

メール入稿の際は、圧縮ファイルをギガファイル便等の大容量ファイル転送サービスを利用して入稿をお願いします。

【グーグルドライブでの入稿】

入稿が多い広告代理店様は、Google driveでの入稿を推奨しています。Googleアカウント、パスワードを発行しますので営業局管理編成部までお問い合わせ下さい。

※Googleサーバー、弊社ネットワークの障害時はメディア媒体での直接入稿をお願いする事があります。

★入稿〆切

県内広告代理店の原稿入稿は**掲載日前日の17時**まで

県外広告代理店の原稿入稿は**掲載日の3日前**まで

注意！！象嵌・修正について

「完全データ」での入稿を原則とし、弊社での象嵌・修正は行いません。データに不備があった場合は、再入稿をお願いします。

入稿前の原稿チェック項目

- Illustrator EPS 形式で保存（AI形式不可）
- 原稿サイズの確認 ⇒ 15頁参照
- カラー設定は CMYK（RGB・カスタムカラー不可）
- フォントは全てアウトライン化
- Acrobat Pro により総インキ量（UCR量）が250~240%以下の確認
- 不要なオブジェクトの排除（トンボ、孤立点、レイヤーなど）
- 黒文字や QRコードは墨のみ
- 見本ゲラ（PDF）の添付
- ウィルスチェック
- 再入稿の際は、フォルダ／ファイル名に「再」「修正」などを追記し、修正箇所を明記

★原稿サイズ表

本紙：通し制作寸法 (mm)			
段数	縦	横	
1段	32	382	
2段	66	"	
3段	101	"	
4段	135	"	
5段	169	"	
6段	204	"	
7段	238	"	
8段	272.7	"	
9段	307	"	
10段	341	"	
11段	376	"	
12段	410	"	
13段	445	"	
14段	479	"	
15段 社罫あり	天罫のみ	513	382
	社罫なし	513	385
	見開き 社罫あり	515	385
見開き 社罫あり	天罫のみ	513	787
	社罫なし	513	788.5
	社罫なし	515	788.5

雑報広告 (mm)				
種別		縦	横	
1面	題字下	32	65	
"	記事中	32	70	
"	突出	66	52.5	
"	天気図横	66	45	
"	コラム横	66	35	
市況面	市況中(大)	66	45	
"	市況中(中)	32	60	
文化面	文化突出	66	50	
情報面	運勢下	32	140	
"	運勢下(小)	32	60	
"	救急横	150	15	
ワラビー面	題字横	53	62	
くらし面	記事中	40	70	
釣り面	記事中	35	67	
地方面	ペット写真下	20	130	
ラジオ面	囲碁将棋挟み	101	30	
社会面	マンガ下	100	47	
"	記事挟み	40	15	

雑報広告 (mm)			
種別		縦	横
テレビ面	記事中	32	70
"	番組下(大)	32	106
"	番組下(中)	16	106
"	番組下(小)	16	48
"	縦挟み(大)	135	35
"	縦挟み(小)	130	15
"	突出	66	115
"	変形突出	100	25

★N-SIZEも入稿可能

N-SIZEで入稿された原稿データは、弊社原稿サイズに合わせて偏倍処理されます。偏倍処理すると縦横比が変わりますのでご注意ください。



★原稿サイズ表

半載制作寸法 (mm)			タブロイド版：通し制作寸法 (mm)		
	本誌	タブロイド版	段数	縦	横
2ツ割	190	120	1段	33	240
3ツ割	126		2段	71	〃
4ツ割	94	59	3段	108	〃
5ツ割	74		4段	146	〃
6ツ割	62		5段	184	〃
7ツ割	52		6段	221	〃
8ツ割	46		7段	258	〃
9ツ割	40		8段	296	〃
10ツ割	36		9段	334	〃
			10段 社罫あり	371	240
			社罫なし	373	244
			見開き 社罫あり	371	518
			社罫なし	373	522

【本社】

〒900-8678 那覇市久茂地 2 丁目 2 番 2 号

☎ (098) 860-3000 (代表)

☎ (098) 860-3576 (営業局管理編成部)

FAX (098) 864-5119

【東京支社】

〒104-0061 東京都中央区銀座 8 丁目 18 番 1 号 (銀座木挽町ビル 6 階)

☎ (03) 6264-7878 FAX (03) 6226-1200

【関西支社】

〒541-0041 大阪市中央区北浜 3 丁目 1 番 12 号 (万成ビル 3 階)

☎ (06) 6231-3151 FAX (06) 6227-0769

【福岡営業所】

〒810-0001 福岡市中央区天神 1 丁目 9 番 17 号 (福岡天神フコク生命ビル 13 階)

☎ (092) 737-6623 FAX (092) 734-5531

【中部支社】

〒904-0021 沖縄市胡屋 1 丁目 12 番 24 号

☎ (098) 939-1122 FAX (098) 938-5169

